

認知症に対するDLPC/POPCの改善効果 科学的検証

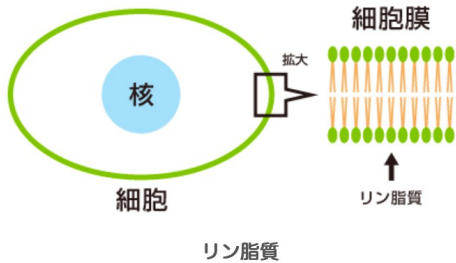
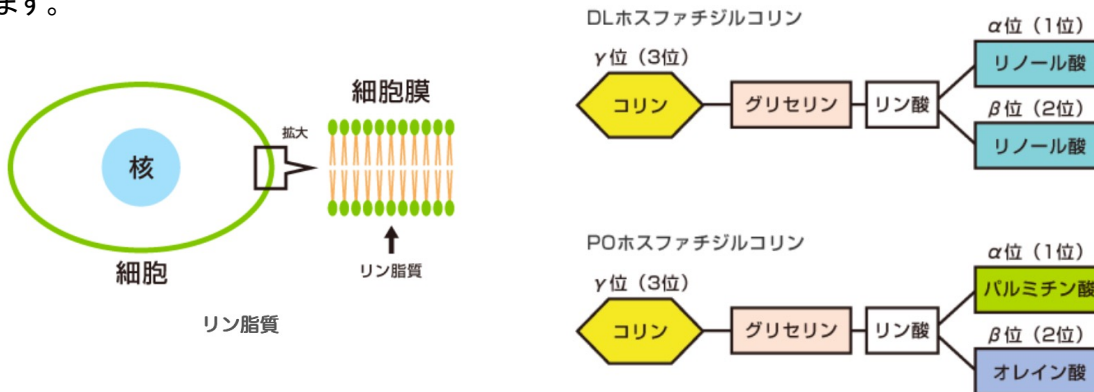
1. DLPC/POPCとは？

DLホスファチジルコリン（DLPC）ならびにPOホスファチジルコリン（POPC）は体の中にもあるリン脂質の一つです。

リン脂質は動物、植物を問わず、細胞膜を作っている成分で、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、ホスファチジルセリン、ホスファチジレイノシトールなどがあります。

リン脂質はその構造の中に飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸を含んでおり、様々な飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸の組み合わせによりその種類は数千に及びます。

DLPCは α 位と β 位にリノール酸を含んだ構造、POPCは α 位にパルミチン酸と β 位にオレイン酸を含んだ構造をしています。



2. DLPCは記名力障害を改善し、POPCは記憶力障害を改善する

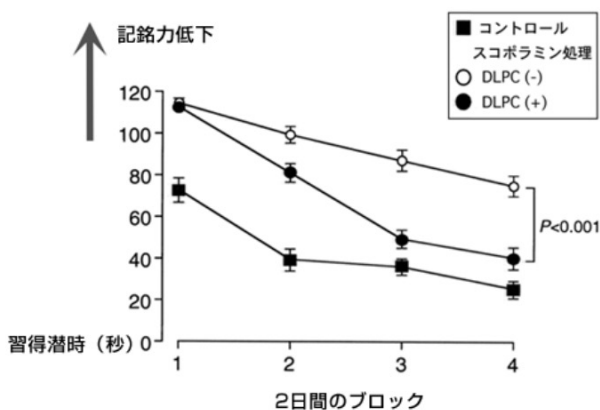
動物(ラット)にスコポラミンを腹腔内注入すると記銘力ならびに記憶力障害が誘発されます。

スコポラミンによる記銘力障害は、DLPCの経口投与により徐々に改善し、投与8日目には正常レベルにまで回復します。

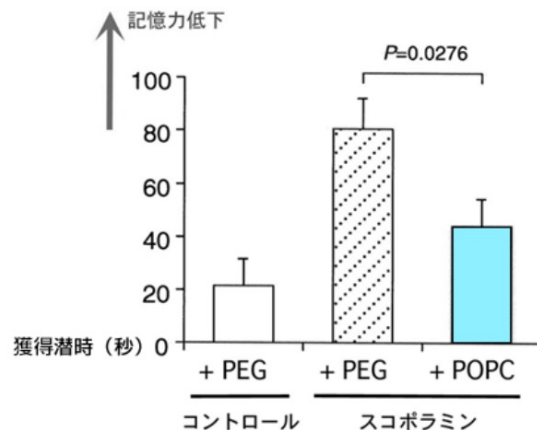
この結果は、DLPCに記銘力障害を改善する作用があることを示しています。

スコポラミンによる記憶力障害は、POPCの経口投与により著明に改善します。

この結果は、POPCに記憶力障害を改善する作用があることを示しています。



記銘力障害に対するDLPCの改善効果



記憶力障害に対するPOPCの改善効果

3. まとめ

DLPCは記憶力障害を改善する作用があり、POPCは記憶力障害を改善する作用があります。

したがって、DLPCとPOPCの併用は記憶力障害と記憶力障害の両方を改善することによって、認知症の「物忘れ」症状を改善することができます。

